

(案)

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

令和4年11月21日 盛岡広域振興局

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域			
1 健康で安心な地域社会 (1) 地域医療の確保充実と地域で支え合う福祉のまちづくりの推進	○医療職及び介護職の人材が不足しており、人材の確保に向けて、進学・就職にあたっての動機付けが必要。	① 医療介護出前講座の実施 地域の医療機関や介護保険事業所の医療職・介護職員等を講師とした中学生を対象とした出前講座の実施 ② 生活困窮者自立支援事業との連携 学習会に参加する中学生等を対象に、医療・介護分野の仕事や資格取得に必要な進学先や進学に際し利用可能な奨学金制度等の普及啓発の実施	人口減対策
	○身体的負担の軽減を図る介護ロボットの利用促進に向けて、利用効果の体験や事業者の費用負担軽減に取り組む必要がある。	③ 介護ロボット等普及利用促進 台数や機種の増設など介護ロボットの貸出拡充、普及に向けた事業所の体験談や助成事業について情報共有	人口減対策
2 環境保全、脱炭素 (1) 多様で豊かな環境の保全・保護の推進	○環境保全等に積極的に取り組む団体がある一方、高齢化等により、活動の停滞が懸念される状況	① 環境保全活動の協働推進 ・パートナー、盛岡広域管内流域協議会構成団体等との交流や持続可能な活動のための研修会開催 ・環境保全活動団体等と連携した小学校等での環境学習への支援	GX
(2) 動物の愛護思想の普及と適正飼養の推進	○犬や猫に関する引取りの相談や苦情が多数あり、未然に防止するための普及啓発や体制を構築する必要がある。	② 社会福祉関係機関連絡会議・研修会の開催 当事者に経済的困窮や社会的孤立等の問題が絡んでいる犬や猫の多頭飼育問題等に連携して取り組むための関係機関での情報交換と「社会福祉と動物愛護を考える研修会」の開催	
(3) 温室効果ガス削減対策の推進	○県内市町が脱炭素化に積極的に取り組んでおり、連携強化が必要	③ 盛岡広域脱炭素連携会議の開催 【新規】 管内市町の取組や課題の共有、脱炭素先行地域創出に向けた方策検討	GX
	○SDGs未来都市の岩手町×さいたま市による地域循環共生圏の取組が行われようとしており、効果的な取組となるよう支援が必要	④ 脱炭素先行地域との連携推進【新規】 岩手町・さいたま市(脱炭素先行地域)との連携した脱炭素の取組推進のための関係構築、広域の他の市町への横展開検討	GX
	○県有施設において、構成比が50%を超えている電力由来の排出量削減が急務 ○燃料高騰による省エネ対策が必要	⑤ 再生可能エネルギー電力調達と企業との連携による省エネ対策の推進【新規】 ・再生可能エネルギー電力(企業局水力発電)の導入によるエネルギーの地産地消牽引 ・エネルギー管理士等による県有施設の省エネ運用のためのアドバイス実施	GX

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域			
3 活力ある地域づくり (1) 広域連携による持続可能なまちづくりの推進	○岩手町がSDGs未来都市のネットワークを活用し、さいたま市と東京都豊島区と連携した取組を始めていることから、盛岡広域で一体的に取り組み、都市のもつヒト、モノ、カネを呼び込むなど交流の促進が必要。	① SDGs首都圏連携推進 【新規】 さいたま市(連携支援センターまるまる東日本)、豊島区(ファーマーズマーケット)を通じた、各市町のSDGsに関連した取組情報発信	
	(2) 関係人口の拡大と移住定住の促進 ○首都圏向けの取組として、盛岡エリアとして効果的な魅力発信を行い、市町への相談機会の創出が必要 ○地域おこし協力隊をはじめ、移住者が様々な活動を行っており、移住者の力の活用と定着に向けた取組が必要	② 盛岡広域移住定住促進 8市町と共同での東京での移住相談会の開催 ③ Uターン対策「隣町でも待ってるよ大作戦」の実施 【新規】 地元の親等を介して県外で暮らす子ども等へUターン意向アンケートを実施し、ターゲットとニーズを明確にしながら、近隣市町連携によるUターン対策の企画実施を促進 ④ 盛岡広域移住者交流会の開催【新規】 移住者の交流促進、移住者施策の効果的な方策検討、魅力発信の取組への協力促進	人口減対策 人口減対策
(3) 持続可能な地域コミュニティづくりと活動を支える人材の育成	○コロナの影響による活動の制限、人口や世帯構成の変化による活動の担い手不足が課題であり、持続可能なコミュニティを推進するための人材の育成が必要	⑤ コミュニティ研修会の開催 市町担当者やNPO、自治会等を対象とした課題解決に向けた優良事例等の調査研究、実践に向けた検討	
	○圏域内に複数の大学が立地している利点を生かし、関係人口や将来的な移住・定住に向けて、学生と地域とのつながりづくりや魅力を知るきっかけづくりが必要	⑥ 若者視点を生かした地域づくり 地元大学との連携による学生の学びや活躍の機会の創出と地域が抱える課題解決の取組を支援	
	○ハロウスクールの開校等により、管内の外国人は増加することが見込まれ、多文化共生についての理解醸成が必要	⑦ 多文化共生理解醸成のための普及啓発 多文化共生普及員による地域住民向け普及啓発(セミナー開催)	
(4) 歴史や文化など地域の特色を活用した地域の活性化の促進	○文化芸術のもつ創造性やスポーツの訴求力を活かし、地域課題の解決に向けた取組が必要	⑧ アーティストやアスリート等を活用した地域活動の促進 ・文化芸術コーディネーターとの連携による文化芸術の創造性を生かした事業の企画検討支援 ・アーティスト・イン・レジデンスやスポーツ合宿等で滞在するアーティストやアスリート等を活用し、地域と交流する機会を提供	

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域			
4 防災対策の推進 (1) 河川改修や砂防施設による防災安全度の向上	○豪雨に伴う災害が激甚化、頻発化しており、洪水・土砂災害による被害を軽減するため早期の防災施設整備が必要	① 河川の氾濫による浸水被害を未然に防止するための河川整備推進 ・ 木賊川(盛岡市・滝沢市):遊水地工事 ・ 北上川・松川(盛岡市):河川改修 ・ 北上川(岩手町):河川改修に伴う田頭橋架替に係る橋梁前後の道路改良 ② 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備推進 ・ 外水沢地区(八幡平市):砂防堰堤本体工事 ・ 山岸・桜山地区(盛岡市):急傾斜地崩壊対策工事	安全・安心
(2) 地震に強い社会資本の整備	○地震災害発生後も確実な通行経路となる緊急輸送道路における橋梁の耐震化が必要	③ 緊急輸送道路等における橋梁耐震化の整備推進 ・ 盛岡横手線夕顔瀬橋(盛岡市)	安全・安心
5 安心・快適な都市・生活環境 (1) 高次都市機能の充実	○県内の交通渋滞箇所73か所のうち51箇所が県央圏域に存在しており、交通混雑の緩和必要	① 交通混雑が緩和される街路の整備推進 ・ 盛岡駅本宮線(杜の大橋:盛岡市) ・ 大ケ生徳田線(徳田橋:盛岡市・矢巾町)	
(2) 安全・安心な歩行空間及び自転車通行区間の確保	○児童生徒の安全な通学の確保のため、歩道整備が必要	② 歩道整備等による通行空間の確保 ・ 矢巾西安庭線 広宮沢(矢巾町)、国道282号 巣子(滝沢市)、雫石東八幡平線 長山の2(雫石町)、古館停車場線 中島(紫波町)、上米内湯沢線 浅岸(盛岡市)、渋民田頭線 大更の2(八幡平市)の事業推進	
(3) 建設業における担い手の確保・労働環境の整備	○建設企業で働く技術者・労働者の主たる担い手が約10年後一斉退職し大幅な減少が予測されるため、担い手の確保・育成が必要	③ 建設業への入職・定着促進事業 ・ 中学生を対象とした建設現場見学と体験学習(ICTを活用した重機・測量・ドローン体験、VR(仮想現実)やMR(複合現実)等の活用) ・ 工業高校の女子生徒を対象とした女性技術者との意見交換会 ・ 大学・短大の学生を対象とした出前授業(建設コンサルタントの技術者を講師とした各企業の業務内容や最新技術、建設業の魅力の普及啓発)	DX 人口減対策
II IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域			
11 交通ネットワークの整備 (1) 医療機関への救急輸送ルートの整備	○地域医療を支援し広域的な救急輸送を支えるため、道路ネットワークの強化が必要	① 医療機関への救急輸送ルートの整備推進 ・ 大ケ生徳田線(徳田橋:盛岡市・矢巾町) ・ 国道282号(佐比内:八幡平市) ・ 国道282号(一本木:滝沢市)	安全・安心

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（盛岡広域振興局）

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域			
6 IT産業やものづくり産業の振興	○デジタル・IT分野の新たな需要をはじめとした地域産業を支える人材の育成・確保に向けた取組が必要	① 新卒人材と県内企業のマッチング推進 ・県立大等と連携した学生とIT企業のマッチングガイダンスの開催 ・大学生対象のIT人材を求める企業でのインターンシップの実施【新規】	
(1) 地域産業を支える人材の確保・育成、起業・創業の推進	○大学生等の若年層がIT技術に興味・関心を持ち、県内IT企業への就業や起業・創業を促進させる取組が必要	② 県内IT企業への就職、起業・創業の推進 ・学生デジタルアイデアコンテストへの参画	DX
(2) IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進	○デジタル化に取り組む県内企業の割合は約5割であり、IT産業と多様な産業との連携に向けた支援が必要	③ 多様な産業分野へのIT企業の参入促進 ・IT連携コーディネーターによるビジネスマッチング ・企業集積施設入居企業による合同シーズ発表会の開催【新規】 ・県南局と連携した企業のマッチング交流会 ④ IT・ヘルスケア産業等の取引拡大の促進 ・IT・ヘルスケア関連企業などの展示会等出展支援	人口減対策 DX
10 産業人材の確保・育成	○求人数が求職者数を上回る状況で企業の人材不足が深刻化しており、企業の採用充足率の向上が必要 ○年々、管内新規高卒就職者数が減少しており、県外就職者の多い学校を中心に保護者や進路指導教員等の県内企業や県内就業への理解促進が必要 ○離職率が全国平均を上回っている大卒新卒の早期離職の防止	① 県内就業意識の醸成 ・保護者や進路指導担当教員を対象とした企業見学や企業との交流会の実施【新規】 ・高校生と企業の経営者や若手社員等との交流会の実施 ・高校生等を対象とした工場見学、出前授業の実施 ・企業ガイダンス等におけるPR力、企業情報発信力の強化 ・大学生等と県内企業の経営者や若手社員、行政職員などとの交流会の実施 ・大学生とU・Iターン就職者(起業家含む)との交流会の実施【新規】 ・成人式など県外大学生等の帰省のタイミングを活用した県内企業のPR【新規】 ② 早期離職の防止 ・就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就職後のフォローアップのための企業訪問等の定着支援	人口減対策
(2) 企業における雇用・労働環境整備の促進	○企業における待遇改善やワーク・ライフ・バランス等の浸透が雇用の確保に繋がるという意識醸成が必要。	③ 企業の採用力の強化 ・企業の魅力アップセミナー(企業間交流による取組事例の共有)への参加促進【新規】	人口減対策

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域			
7 観光・食・スポーツによる地域活性化 (1) 魅力ある観光地域づくりと観光客受入環境の向上	○観光需要の回復に向け、広域周遊観光や相互交流の促進が必要。	① 酒蔵ツーリズムの促進 ・旅行会社と連携した酒蔵ツアー商品造成 の促進 ・酒造会社を対象に案内やおもてなし等観光客受入のためのセミナーの開催 ・酒蔵ツーリズムの WEB サイト作成による情報発信 ② 管内の酒類をテーマとしたイベントの開催 ・酒類やグルメ、特産品を一堂に集めたイベントの開催 ③ 秋田県鹿角地域との連携による観光パスポートの発行 ・自然、観光、食等の情報を掲載した特典付き小冊子の発行 ④ 秋田県仙北地域との連携による誘客事業 ・国道46号沿線エリア誘客事業の実施	
	○コロナによる宿泊客数の減少や旅行形態の変化による売上減少等厳しい経営環境下に ある宿泊事業者への支援が必要	⑤ 宿泊施設を対象とした事業再構築・経営改善等の支援 ・宿泊業者を対象とした旅行形態や消費者ニーズの変化に対応するためのセミナーの開催 【新規】 ・商工団体と連携した中小企業活性化協議会や専門家の活用促進 【新規】	
	○教育旅行入込数の増加、探究学習・SDGsをテーマとした教育旅行へのニーズの高まりに対応し、学校関係者のニーズを踏まえた誘致活動が必要	⑥ SDGs 国内教育旅行誘致 ・SDGs教育旅行プログラム(宮古盛岡横断道路や 御所野遺跡活用)の WEBサイト作成、旅行会社や教員を対象としたモニターツアーの実施 【新規】 ・岩手県教育旅行誘致説明会(北海道・東京)での誘致活動	
	○観光客の集客と特産品の販売回復に向け、本県への観光客が多い隣接県でのプロモーションの機会が必要	⑦ 盛岡広域観光物産フェアの開催 ・仙台圏でのファミリー層をターゲットとした観光物産フェアの開催	
(2) 国際観光の推進	○台湾学校とのつながりづくりや長期滞在の外国人観光客の管内の周遊を促す取組が必要	⑧ 台湾学校の教育旅行誘致 (同上) ・台湾からの教育旅行誘致に向けた高校と台湾学校とのオンライン交流の実施 【新規】 ⑨ 外国人観光客誘客等に向けたニーズ調査の実施 ANA インターコンチネンタル宿泊者を対象としたニーズ調査の実施 【新規】	
(3) スポーツツーリズムの推進	○観光スタイルの変化等を契機にサイクルツーリズムに着手した市町を核にウィズ・アフターコロナに向けて、スケールメリットを活かした支援が必要 ○「岩手県自転車活用推進計画」推進に向けた管内市町の推進体制の構築が必要	⑩ 県央圏域モデルルート(R4造成)を活用したサイクルツーリズムの促進 ・モデルルート試走会の企画実施等を通じた域内サイクル環境の一体的把握 ・圏域内サイクルルートや自転車環境関連情報の効果的な発信の検討・試行実施 ⑪ 県央圏域自転車活用推進検討会議(仮称)の設置・運営 本庁・局及び市町における自転車に関連する取組状況等の情報交換を通じた一体的な自転車活用の取組を促進	
(4)食産業・工芸産業の販路拡大の促進	○管内事業者の販路拡大や売上向上につなげるため、県外バイヤーとの商談機会の創出、商談スキルの向上を図ることが必要 ○地場産品の価値や魅力を発信するための取組が必要	⑫ 商品の高付加価値及び販路拡大の推進 ・工芸事業者のための工芸展示商談会とバイヤーを対象とした工房見学会の開催 ・食産業・工芸産業事業者の商談スキル向上等を目的としたセミナーの開催 ・工芸品の体験、購入、持続可能な使用方法の学習等を目的とする「SDGs と工芸展」の開催	

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（盛岡広域振興局）

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域			
8 農業の持続的発展と活力のある農村づくり (1) 次世代の地域農業を担う経営体の育成	○次世代の人材を育成するため、学校、民間企業、行政が連携しながら、革新的な農業技術の体験を通じて、児童・生徒に、農業の魅力を発信し続けていくことが必要。	① スマート農業技術の発信による就農希望者の裾野の拡大 ・小中学生を対象とした体験学習会の開催（機械メーカーと連携し、機械展示会を活用）	人口減対策 DX
(2) 生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり	○水稻栽培の省力化につながるスマート農業技術について、導入効果を整理しながら、普及推進が必要 ○「銀河のしずく」の高品質安定生産を維持し、省力化につながる技術の普及推進が必要 ○環境制御技術を導入した経営体における一層の技術向上に向けた支援が必要 ○低コスト技術の導入など環境制御技術の普及推進が必要 ○花き（りんどう）について、省力化につながる高性能自動選別機の開発・導入が必要	② 水稻におけるスマート農業技術の普及推進 ・自動水管理システムの実証展示（ほ場整備未実施地区における開水路用システムの実証及び普及推進） ・「銀河のしずく」生産の省力化技術の普及推進（「銀河のしずく生産者マイスター」研修会等による技術普及） ③ 施設園芸における環境制御技術の普及推進 ・盛岡地域環境制御技術研究会の活動支援（技術向上支援及び技術導入効果の共有や生産者ネットワーク形成に向けた研修会の開催等） ・低コスト環境制御技術の普及（CO2発生装置やミスト等低コスト技術の実証展示や現地研修会の開催） ④ りんどうにおける省力化技術の開発・導入 ・りんどう自動選別機実用性実証（データ収集の継続によるAI選別精度の向上等） ・収穫から出荷までの作業工程の検証（生産者研修会の開催による普及推進）	DX
	○公共牧場の看視人の高齢化や担い手不足の解決に向け、市販の先端技術を検証しながら普及推進が必要 ○牛や人にストレスが無い非接触型の分娩監視装置の実証が必要	⑤ 畜産分野における先端技術の普及推進 ・管内公共牧場における省力化技術の実証展示（通信技術を活用した放牧牛の遠隔監視システム「うしみる」）（育成状態を確認するための自動で体重データを収集できる体重計）【新規】 ・非接触型分娩監視技術の実証展示（分娩前の特徴的な行動をAIで判断する非接触型分娩監視技術）【新規】	DX
	○資材高騰に対応するため、「耕畜連携」による地域資源の効果的な活用を推進する必要	⑥ 地域内未利用資源を活用した牛舎敷料の確保 ・有効利用されていない麦わらの収集・利用方法の検討・実証（麦栽培農家の意向調査、流通方法、保管方法、利用条件の検討） ⑦ 岩手町をモデルとした地域内堆肥の活用による減化学肥料栽培の検証 ・ペレット堆肥を用いた指定混合肥料の試作と混合散布機械による肥料の散布実証・実演（新型ブロードキャスターによる肥料の混合と散布実演、作業性等の検証）	GX
(3) 魅力ある農村づくりの推進	○地域の魅力の掘り起こしと来訪者の増加に向けた効果的なPRを行うことで、移住の促進につなげる必要がある	⑧ 地域の魅力アップのための環境整備とイベント等によるPR ・市町等が主催の移住交流ツアー、移住相談会等のイベントの開催を支援 ・南畑地域の魅力アップのための植物園の整備、都市住民との交流イベントの試行（ラベンダー試験栽培ほ場の管理・拡大、ラベンダーを活用したポプリ作成等）	人口減対策

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域			
9 森林資源の循環利用促進 (1) 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保	○計画的な主伐、造林、間伐を進めるため、意欲と能力のある林業経営体の育成が必要	① 森林経営計画作成を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・意欲と能力のある林業経営体と森林施業プランナーの育成 ・林業普及指導員による森林所有者等を対象とした巡回指導 ・森林管理システム構築推進員による市町村における森林経営管理制度の業務支援 ・森林GISや森林クラウドなど情報通信技術(ICT)等の先端技術を活用したスマート林業の推進 	<div>GX</div> <div>DX</div>
	○労働災害や死亡事故を防止するための安全対策が必要	② 専門家派遣による林業経営体の能力向上等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・林業事業体への専門家派遣、伐木技術普及研修の実施 	
	○60歳以上の割合が高止まり傾向にあり、林業労働者の若返りを図る必要がある	③ 林業の担い手確保対策の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就業者の確保・定着対策及び林福連携の就業支援 ・労働強度の軽減のための林業用アシストスーツ等新技術の導入、空調服等の普及促進 ・林業労働対策基金が行う就労条件改善等の取組を事業体へ情報提供 	<div>人口減対策</div>
	○豪雨等による被害が頻発する中、自然災害等に強い山村づくりに向け、治山施設の着実な整備と市町や地域住民と連携した防災・減災に取り組む必要	④ 荒廃森林の復旧や災害の未然防止 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な治山施設の整備 ・治山施設の定期点検 ・山地災害危険地区の周知による警戒避難体制構築の促進 	<div>安全・安心</div>
	○松くい虫・ナラ枯れ被害について、未被害地域への被害拡大を防ぐ必要	⑤ 新たな被害監視体制の構築による監視の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリ・ドローン・地上調査の連携による被害木探査 ・「松くい虫等防除推進員・松くい虫被害防除監視員」による監視体制の強化 ⑥ 新たな駆除方法の追加による防除の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・被害先端地域における駆除の徹底 ・被害木のチップ等への利用による駆除の促進 ⑦ 松くい虫、ナラ枯れ被害を受けた森林の環境保全の促進	
(2)地域材の利用促進	○大型製材工場が稼働、近隣の合板工場や木質バイオマス発電所の立地など、大口需要者に対し地域材を安定供給する体制が必要 ○住宅リフォームや店舗等での需要拡大を図る必要	⑧ 木材加工施設の整備支援 <ul style="list-style-type: none"> ・針葉樹大径材や広葉樹材の利用を促進する加工能力の高い木材加工施設の整備支援 ⑨ 民間建築物での県産木材利用拡大促進 <ul style="list-style-type: none"> ・建築事業者向けの県産木材利活用セミナー等の開催 	<div>GX</div>